



2026-2035

第四次中津川市環境基本計画

(概要版)

令和7(2025)年12月策定

 中津川市
NAKATSUGAWA

2050年、地球はどうなる——。



©ジェイアイ

イメージイラストについて

イラストは、「環境対策を何もしなかった場合の2050年」をイメージしています。

2010年代は、観測史上最も暑い10年でした。このまま地球温暖化が進むと、気候のパターンが変化し、「日照りによる干ばつ、山火事の増加、熱中症の増加」「農作物の収穫量の減少による食糧不足」「暴風雨の規模や発生数の増加」など、私たちの生活に様々な影響が出るといわれています。

加えて、ごみの不法投棄や工場排ガスなど、地球温暖化以外の脅威も存在します。

私たちが環境についての取組をやめてしまったとき、訪れるのはこのような恐ろしい未来かもしれません。

作画について

伊藤 潤二（いとう・じゅんじ）。漫画家。

1963年、岐阜県中津川市（旧・恵那郡坂下町）生まれ。

1987年、第1回椋図賞で佳作入選した「富江」でデビュー。代表作に「富江」シリーズ、「死びとの恋わずらい」、「うずまき」など。

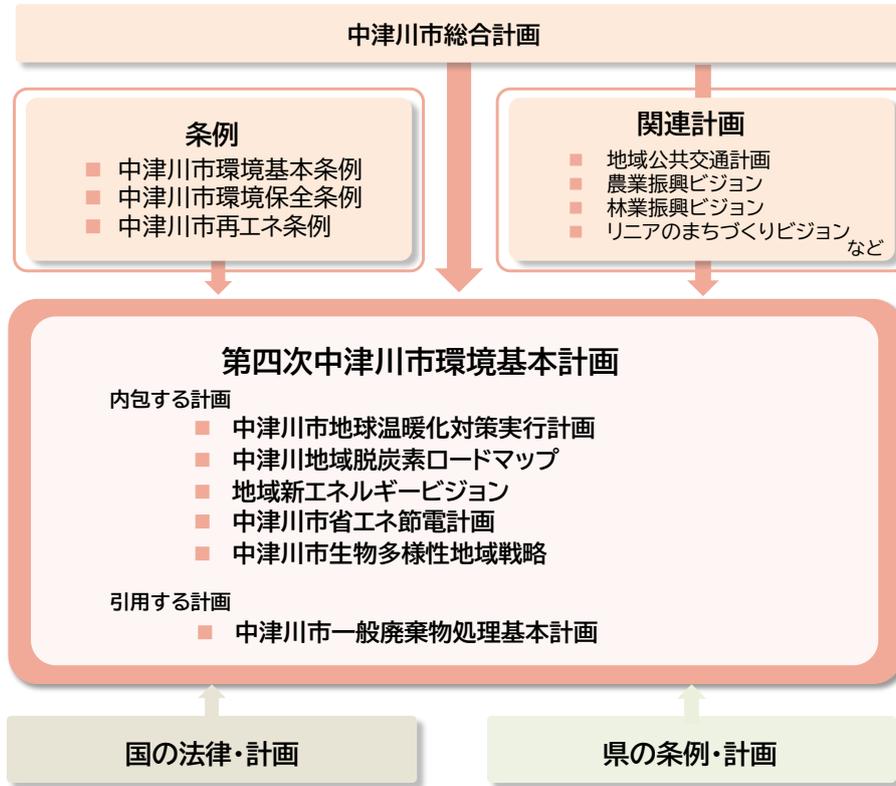
2023年、「第50回アンゴレーン国際漫画祭」（フランス）で特別荣誉賞、「サンディエゴ・コミコン」でインクポット賞を受賞。アメリカの権威ある漫画賞「アイズナー賞」で、2019年「伊藤潤二傑作集10 フランケンシュタイン」で最優秀コミカライズ賞を受賞したのを皮切りに、2021年に2部門、2022年と立て続けに4度受賞し、さらに2025年にアイズナー賞殿堂入りを果たす。伊藤潤二先生の作品は、日本だけでなく世界中にファンを持つ。

2025年5月、中津川市観光大使に就任。

※ イラストについては、中津川市が提供したイメージをもとに伊藤潤二先生に作画いただきました。
※ このイラストを許可なく転載、複製、改変することは禁止いたします。

1 計画の位置づけ

中津川市環境基本計画は、中津川市総合計画を上位計画とし、最上位の理念計画かつ環境施策の根幹をなす実行計画として位置付けられます。作成にあたっては、市の条例・関連計画のほか、国の法令・計画等や県の条例・計画等とも整合性を図っています。



2 将来の環境像

「将来の環境像」とは、中津川市の環境にとって最も重要で、将来に残すべき要素をまとめたものです。中津川市が施策や取組を決定する際は、いつ、いかなるときも、将来の環境像を目指すものとします。

将来の環境像

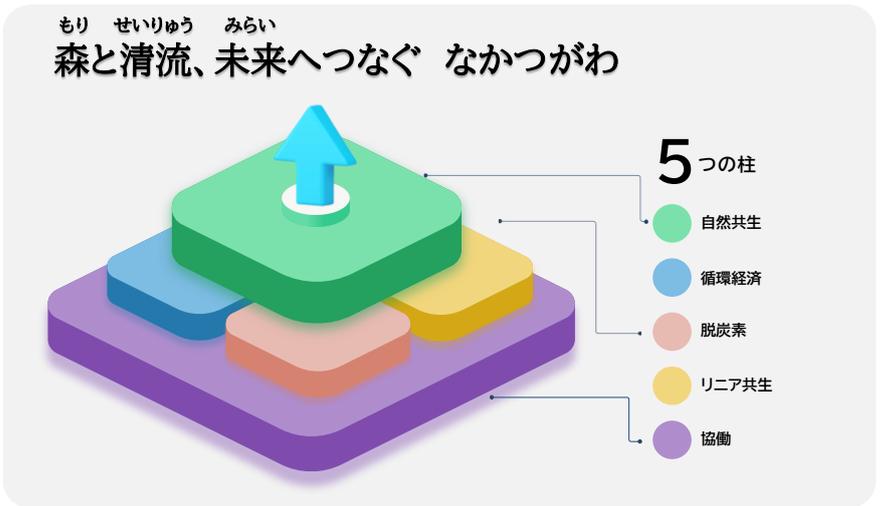
もり せいりゅう みらい
森と清流、未来へつなぐ なかつがわ

「森と清流」は中津川市のシンボルであり、守るべき一番の存在です。
そして、将来の中津川市のために、みんなで「創る・守ること」が重要であり、
この風景を未来につなげていく情景こそが、本市の将来の環境像であります。

3 計画の基本方針

◆ 第四次中津川市環境基本計画は、豊かな森林と清流に代表される中津川市の自然の恵みを次世代に継承し、リニア開業という新たな時代を迎える中で、中津川市の市民一人ひとりがよりよい暮らし（ウェルビーイング：Well-being）を送るための施策や取組を総合的かつ横断的に推進し、持続可能な地域社会を構築することを目指した計画です。「**ウェルビーイング**」とは、より良い環境を作ることによって市民一人ひとりの生活の質を向上させようという考え方のことです。様々な地域課題の同時解決にも繋がり、この計画の基本理念となっています。

◆ この計画を作るにあたり、近年ますます複雑化・多様化する環境の課題の中で、中津川市に必要な要素を抽出し、「自然共生」「循環経済」「脱炭素」「リニア共生」「協働」を5つの柱としました。この計画では、それぞれの分野を相互に連携させながら、総合的かつ効果的な取組を推進することを目指します。これらの分野は独立したものではなく、複数の効果を同時に生み出すことを重視します。



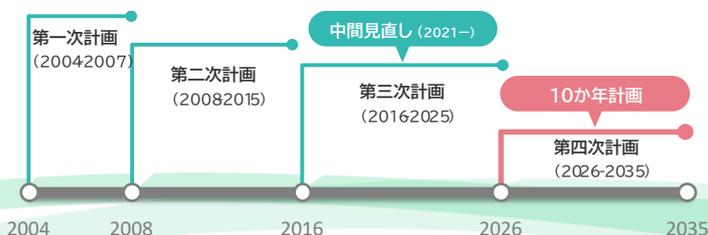
◆ 環境課題の解決のためには、市民・事業者・行政が一体となった行動変容が必要不可欠です。そのため、この計画では、あらゆる主体が参加する協働・パートナーシップを支援し、環境教育の充実や情報発信の強化を通じて、すべての主体が環境に配慮した行動を自主的に実践できる地域社会の構築を目指します。

◆ 今後、本市はリニア中央新幹線の開業により、新たな交流や経済活動の拡大が期待されます。この好機を活かし、環境と調和した持続可能な地域発展のモデルケースとなるよう、計画的かつ戦略的な取組を展開していきます。

4 計画期間

◆ 取組期間は、令和8（2026）年度から17（2035）年度までの10年間とします。

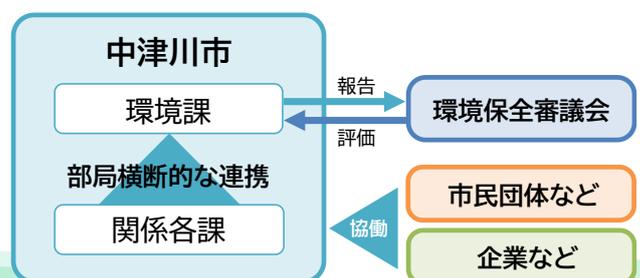
◆ 社会情勢や環境に係る動向の変化を踏まえ、5年（令和12（2030）年度）を目途に見直しを行います。



5 実施体制

◆ 本計画は、中津川市環境課を中心に、部局横断的な推進体制を構築します。

◆ 市民・企業など、あらゆる主体と協働で推進します。



- ◆ この計画における施策は、5つの柱に対して施策の基本的な方向性を示す「基本方針」と「個別施策」で構成されています。
- ◆ 社会の動向や国・県の動き、市民の環境気運によって、取り組むべき個別の施策や取組は絶えず変化します。この計画ではそのような流動的な変化に対応するため、あくまで個別施策の方向性までを設定するものとし、具体的な施策・取組の内容についてはその時々状況を踏まえ流動的に設定するものとしています。

5つの柱

基本方針

自然共生

自然豊かな森林、清流、田園風景を守り育て、人と自然が調和した持続可能な地域社会を創造します

1. 森林・清流の保全
2. 農業・畜産業の振興
3. 生物多様性の維持と自然共生

循環経済

地域資源の循環により環境負荷を減らし、地域経済の活性化を実現します

1. ごみ減量化の推進
2. 4Rの推進
3. 適正処理・処分の実施
4. ビジョンの共有と新たな施策の実施

脱炭素

脱炭素と地域課題の同時解決により、2050年ゼロカーボンを目指します

1. エネルギー利用の効率化
2. 地域貢献型再生可能エネルギーの導入
3. 移動の脱炭素化
4. 新エネルギーの活用・エネルギー転換
5. 森林を活かした脱炭素化

リニア共生

現在の豊かな自然を次世代までつなぎ、リニア開業による新たなまちづくりと環境保全を両立させます

1. リニアと共生したまちづくり
2. 健康で安全なまちづくり
3. 快適で安心なまちづくり

協働

市民・事業者・行政による協働で、みんなで未来を創る社会を構築します

1. 地域の環境活動を支える人材育成
2. 未来につなぐ環境教育・環境学習の推進
3. あらゆる主体によるパートナーシップの推進
4. 広報・PRの実施

個別施策

自然共生 豊かな森林、清流、田園風景を守る

1. 森林・清流の保全

- 健全で豊かな森林づくり
- 持続可能な林業・木材産業の実施
- 林産物の域内利用

2. 農業・畜産の振興

- 農地の確保と有効利用の推進
- 持続可能な農業の実施
- 地産地消の推進

3. 生物多様性の維持と自然共生

- 希少動植物・天然記念物等の保護
- 自然環境の保全・創出に向けた取組の支援 **NEW**
- 特定外来生物対策
- 有害鳥獣対策

循環経済 大量消費社会から循環経済社会へ

1. ごみ減量化の推進

- 生ごみの水切り、食品ロス対策
- ごみ出しマナー向上
- 事業系ごみの削減

2. 4Rの推進 **NEW**

- ごみの分別の徹底、レジ袋削減
- 集団資源回収活動の活性化
- 事業者との連携

3. 適正処理・処分の実施

- 事業者による適正処分
- 災害時の廃棄物処理体制の確立

4. ビジョンの共有と新たな施策の実施

- ごみ減量検討市民会議による施策立案
- 廃棄物処理の広域連携 **NEW**

脱炭素 ゼロカーボンシティの達成

1. エネルギー利用の効率化

- 家庭・オフィスでの省エネ行動
- 省エネ機器や省エネ建築物への切り替え

2. 地域貢献型再生可能エネルギーの導入

- 家庭・工場等への太陽光発電の導入
- 間伐材等のバイオマス利用の検討

3. 移動の脱炭素化

- 次世代自動車の導入促進
- 公共交通機関による移動の促進

4. 新エネルギーの活用・エネルギー転換

5. 森林を活かした脱炭素化

リニア共生

安全・安心で暮らしやすいまちづくり

1. リニアと共生したまちづくり **NEW**

- リニアのまちにふさわしい環境都市づくり

2. 健康で安全なまちづくり

- 大気・水環境(上下水道を含む)の保全
- 騒音・振動及び悪臭対策

3. 快適で安心なまちづくり

- まち美化とマナー向上
- 景観に配慮したまちづくり

協働

未来につなぐ人づくりとパートナーシップ

1. 地域の環境活動を支える人材育成

2. 未来につなぐ環境教育・環境学習の推進

- 木育、カワゲラウォッチングなど

3. あらゆる主体によるパートナーシップの推進

- 地域が主体となった環境活動の推進

4. 広報・PRの実施 **NEW**

7 重点戦略

- ◆この計画では、特に重要な施策を組み合わせた取組を「重点戦略」として位置付けています。
- ◆将来の環境像を達成するために、市民・事業者・行政との協働や市の部局を超えた協働による体制づくりが求められます。

①豊かな森林資源を活かした 包括的脱炭素戦略

施策	森林・清流の保全×森林を活かした脱炭素化×ごみ減量化の推進
概要	森林整備によって森林吸収量を増やし、クレジットを創出して地域の脱炭素に繋がります。また、地域の間伐材を利用し、化石燃料依存からの脱却に貢献します。

【具体的な取組例】

- ◆ J-クレジット・G-クレジット創出拡大と市内企業への優先販売
- ◆ 木質バイオマス利用の拡大支援
- ◆ 木育の実施、地域産木材利用の推進

②地域経済の活性化と人口減少に 対応する循環経済戦略

施策	リニアと共生したまちづくり×ごみ減量化の推進×農業・畜産の振興
概要	地域で協働して限られた資源を地域で循環させることにより、人口減少に対応しつつ、地域経済の活性化を図ります。

【具体的な取組例】

- ◆ 市民と協働した分別回収及びリサイクル
- ◆ 農畜連携による有機資源の活用
- ◆ 食品ロス削減と地産地消の推進
- ◆ ごみ処理施設の広域化、下水処理施設の統合化

③市民・事業者協働による 自然共生・自然保護戦略

施策	生物多様性の維持と自然共生×地域の環境活動を支える人材育成
概要	市民との協働によって豊かな自然環境と希少植物を保全します。

【具体的な取組例】

- ◆ 市民団体との連携による希少植物や天然記念物の保護
- ◆ 担い手育成・世代間継承支援

④次世代の環境取組を担う 環境人材育成戦略

施策	エネルギー利用の効率化×森林・清流の保全×未来につなぐ環境教育・環境学習の推進
概要	現在の環境教育の基盤を活用し、持続可能な環境取組を担う人材を育成します。

【具体的な取組例】

- ◆ 環境保全活動の担い手育成とパートナーシップ強化

⑤気候変動に適応した 一体型防災戦略

施策	森林・清流の保全×森林を活かした脱炭素化×適正処理・処分の実施
概要	森林保全の取組による脱炭素化の推進だけでなく、防災機能の向上にも繋がる取組に努めます。

【具体的な取組例】

- ◆ 蓄電池活用によるレジリエンス強化
- ◆ 森林整備による森林の防災機能の強化
- ◆ 災害廃棄物処理体制の確立

⑥持続可能な農林畜産業と 環境保全の統合戦略

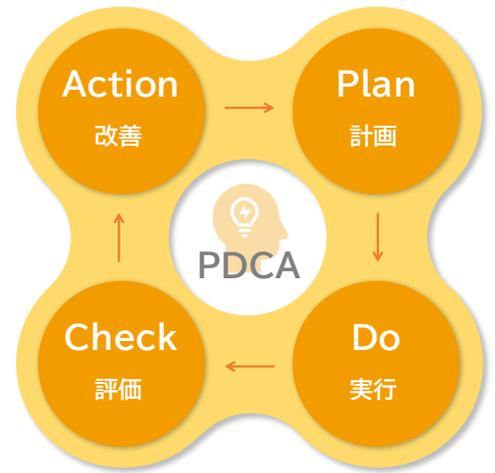
施策	農業・畜産の振興×エネルギー利用の効率化×適正処理・処分の実施×あらゆる主体によるパートナーシップの推進
概要	環境保全と農林畜産業の振興の両立を目指し、持続可能なシステムを構築します

【具体的な取組例】

- ◆ スマート農林業の推進
- ◆ 農畜連携による資源循環システムの構築

- ◆ この計画では、計画の達成度合いを確認するための指標を設定しています。
- ◆ 指標は、特に重視すべき指標である「重点指標」と、5つの柱のそれぞれの取組状況を確認するための「分野別指標」があります。
- ◆ 中津川市では、指標の達成状況を中津川市環境保全審議会で報告し、施策や取組に関する意見をいただいています。また、市の環境報告書である「中津川市の環境」の中でも指標の達成状況について報告しています。中津川市の環境は、市のホームページで公開しています。
- ◆ 毎年、PDCAサイクルによって計画、実行、評価、改善を繰り返し、施策・取組をアップデートしていきます。

PDCAサイクルによる継続的改善



指標区分	指標内容	現況値 (2024年度)	目標値 (2035年度)	
重点指標	市域の温室効果ガス排出量削減率（2013年度比） 【重点戦略：① ④ ⑤ ⑥】	37.0 % (2022年度)	62.5 %	
	市民1人1日当たりのごみ排出量【重点戦略：②】	884 g	788 g	
	G-クレジット創出量（累計）【重点戦略：①】	1,315t-CO ₂ (2025年度)	3,300t-CO ₂	
	自然共生サイトの指定【重点戦略：③】	0 か所	2 か所	
分野別 指標	自然共生	森林整備面積	4,870 ha	9,900 ha
		河川、森林環境教育の実施学校数	12 校	全小学校
	循環経	資源化率（リサイクル率）	14.6 %	19.6 %
		総ごみ排出量	23,797 t	22,400 t
		家庭ごみ排出量	18,562 t	10,855 t
		最終埋立量	1,431 t	1,145 t
	脱炭素	市域の再エネ発電量	183,413MWh (2023年度)	324,000MWh
		行政の温室効果ガス排出量削減率	31.8 % (2023年度)	62.5 %
	リニア共生	一般大気環境基準達成率	100 %	100 %
		河川環境基準（BOD）達成率	100 %	100 %
		下水道整備による水洗化率（公共、特環、農集）	89.0 %	100 %
	協働	環境に関する指導者育成講習会の実施回数	年2回	年5回
幼児環境教育の実施幼保園数		20 園	全幼保園	

※ 現況値は2024年度の値を示しているが、2024年度のデータが出ていないものについては直近の年度のものに記載し、その下に（ ）でデータの年度を示している。

私たちに出来ること

入門編 ～今日からできる10のこと～

環境のため、私たちにできることはたくさんあります。身近なところから変えてみませんか？

1

電気を節電しよう

- ◎ 使わない部屋の電気は消そう
- ◎ テレビや照明のつけっぱなしはやめよう
- ◎ エアコンや冷蔵庫の設定温度を見直そう



2

水を大切に使う

- ◎ 歯磨きや食器洗いの時に水の出っぱなしはやめよう
- ◎ シャワーや洗車の時は節水を心がけよう



3

ごみを正しく分別しよう

- ◎ 分別ルールを守ろう
- ◎ 生ごみの水切りを徹底しよう



資源ゴミ

4

マイバッグと詰め替え商品を活用しよう

- ◎ レジ袋をもらわずマイバッグを持参しよう
- ◎ 洗剤や調味料は詰め替え商品を選ぼう
- ◎ 過剰包装の商品は避けプラスチックごみを減らそう



5

紙・布ごみをへらそう

- ◎ 雑がみ(包装紙など)も資源ごみとして分別しよう
- ◎ 古着を活用しよう



6

自動車に頼らない生活をしよう

- ◎ 車に頼らず徒歩や自転車で移動しよう
- ◎ 公共交通機関を積極的に利用しよう



7

食品ロスを減らそう

- ◎ 食べ残しはやめよう
- ◎ 冷蔵庫の中身をチェックし必要な分だけ購入・調理しよう
- ◎ 賞味期限と消費期限の違いを理解しよう
- ◎ フードドライブを活用しよう
- ◎ コンポストを活用しよう



8

地元の物を食べよう

- ◎ 中津川産の農産物を購入しよう
- ◎ 地元のお店で買い物しよう
- ◎ 旬の食材を選ぼう



9

川や森に興味を持とう

- ◎ 中津川市の自然に興味を持とう
- ◎ 中津川市の希少な植物について知ろう



10

家族で環境の話をしよう

- ◎ 家族で環境の話をしよう
- ◎ 環境イベントの情報をチェックしよう



1

LED照明に切り替えよう

- ◎ 白熱電球や蛍光灯をLEDに交換しよう
- ◎ 人感センサー付き照明に変えよう



2

省エネ家電を選ぼう

- ◎ 家電の買い替え時は省エネ製品を選択しよう
- ◎ 省エネラベルを活用し、省エネ性能をチェックしよう



3

エコドライブを実践しよう

- ◎ 急発進・急ブレーキをしないようにしよう
- ◎ 適正な車間距離を保とう
- ◎ アイドリングストップを心がけよう

ゆっくり発進
ゆっくりブレーキ



4

食品ロスの削減に貢献しよう

- ◎ 規格外野菜を積極的に購入しよう
- ◎ 「もったいないクッキング」を実践しよう
- ◎ フードドライブを活用しよう



5

4 Rを実践しよう

- ◎ 不要なものは買わないようにしよう
- ◎ ごみになるものをもらうのは断ろう
- ◎ まだ使えるものは捨てずに譲渡・売却しよう
- ◎ リサイクルショップやフリマアプリを活用しよう



6

資源の回収に協力しよう

- ◎ 資源ごみをリサイクルボックスや店頭回収に持っていこう
- ◎ 使用済みの天ぷら油の回収に協力しよう



7

環境活動に参加しよう

- ◎ 地域の環境活動や清掃活動に参加しよう
- ◎ 市の環境イベントや講演会に参加しよう



◆中津川市の環境活動（例）



希少植物自生地の保全活動



カワゲラウォッチング



オオキンケイギク駆除



第四次中津川市環境基本計画 概要版

令和8(2026)年3月発行 中津川市環境水道部環境課